

放課後等デイサービス自己評価表

公表日： 令和6年 3月 1日

事業所名 デイサービス ウィルキッズ

No.1

	チェック項目	どちらとも いいない	いいえ	改善目標・工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適正であるか	○		スペースを確保して適切な広さになっています。
②	職員の配置数は適切であるか	○		法令に基づいて必要な人数を配置しています。
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		活動スペースはバリアフリーになっています。
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		毎朝ミーティングを行い、書面に残して情報共有しています。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		今後の支援に活かすためにアンケートの結果をもとに話し合いを行っています。
⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		弊社HPと、名古屋市子ども発達支援サイトすてっぷサポートに公開しています
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在検討しています。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修や部会に参加しています。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメントや調査票、モニタリングに基づいて作成しています。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたツールを使用しています。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		スタッフ間でミーティングを行い、立案しています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		プログラミングや体操などを取り入れてマンネリ化しないようにしています。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		土曜日や長期休暇の際は、買物体験やクッキング等、普段できないことを行っています。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		個別活動については家庭、相談支援と連携して行っています。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		支援前に必ず行っています。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有しているか		○	翌朝ミーティングを行い、情報共有しています。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		連絡ノート等や個別で記録を作成して支援の改善に活かしています。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的に行っています。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		個々で対応しています。

放課後等デイサービス自己評価表

No.2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか				児童発達支援管理者が参画しスタッフと情報を共有しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校への送迎時や保護者を介して行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在、受け入れはありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて情報共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所を介して情報提供をしています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			月一回、土曜日に子ども食堂への参加をしています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			こども部会に参加しています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳を活用してコミュニケーションを図っています。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者から相談等あった場合、話をする機会を設けてアドバイスさせていただいています。
	㊀	運営規程、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に行っています。
	㊁	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談等があれば速やかに対応し、できるだけ具体的に助言や提案をさせて頂いています。
	㊂	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	特に保護者の要望がないため実施しておりません。
	㊃	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情があった場合には苦情シートを活用してスタッフ全員に共有し改善に努めています。
	㊄	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ホームページへの写真の掲載など、より具体的に活動を発信しています。
	㊅	個人情報に十分注意しているか	○			施錠し保管しています。
	㊆	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			個々に合わせて対応しています。
	㊇	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか			○	

放課後等デイサービス自己評価表

No.3

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者や職員に周知しているか	○			職員にはマニュアルを公開しています。保護者にはお便りでお知らせしています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	○			毎月行っています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			事業所内で行っています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			突発的な行動に関しては安全確保のため行動制限を行うことがある。身体拘束記録簿を作成しています。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			保護者からの聞き取りに基づいて対応しています。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット報告書を作成し、その都度情報共有を行っています。

放課後等デイサービス評価表（保護者向け）

令和5年12月実施

事業所名 デイサービス ウィルキッズ

保護者等数（児童数）	14	回収	10	割合	71%
------------	----	----	----	----	-----

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	9	1	0	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	0	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	2	0	
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	9	1	0	
	⑤	活動プログラムが固定しないよう工夫されているか	7	3	0	
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	3	5	2	長期休暇等で機会があると思います。
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担額について丁寧な説明がなされたか	9	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	0	0	
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	4	0	
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	6	3	
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	1	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	10	0	0	
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し保護者に周知・説明されているか	5	4	1	
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	5	0	避難訓練等が行われた時にホームページ等でお知らせします。
満足 度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	10	0	0	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 1日

事業所名 デイサービスウィルキッズ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		スペースを確保して適切な広さになっています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		法令に基づいて必要な人数を配置しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		活動スペースはバリアフリーになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		活動の前後にアルコール消毒を行っています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎朝ミーティング行い、書面に残して情報を共有しています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今後の支援に活かすためにアンケートの結果をもとに話し合いを行っています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		弊社HPと、名古屋市子ども発達支援サイトすてっぷサポートにて公開しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在検討中です。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修や部会に参加しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		アセスメントや調査票、モニタリングに基づいて作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		標準化されたツールを使用しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			今年度は受け入れがありません。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		スタッフ全員でミーティングを行い、立案しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラミングや体操などを取り入れてマンネリ化しないようにしています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		個々が意見を出しやすい環境のもと行います。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			支援前に行います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		連絡ノートや個別で記録を作成して支援の改善に活かしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		これまでに受け入れがありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		これまでに受け入れがありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談支援を介して情報提供します。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		相談支援を介して情報提供します。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		子ども食堂へ行き交流を図っています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		こども部会に参加しています。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳を活用してコミュニケーションを図ります。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に行っています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			今年度は受け入れがありません。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページへの写真の掲載など、より具体的に活動内容を発信しています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		施錠し保管しています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		個々に合わせて対応しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		毎月実施します。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月行います。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		保護者からの聞き取りにもとづいて対応します。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの聞き取りにもとづいて対応します。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット報告書を作成し、都度情報共有を行っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		事業所内で行っています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		突発的な行動に関しては、安全確保のため行動制限を行うことがある。身体拘束記録を作成しています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援評価表（保護者向け）

令和5年12月実施

事業所名 デイサービス ウィルキッズ

保護者等数（児童数）	0	回収	0	割合	0
------------	----------	----	---	----	----------

*本年度の利用者はありませんでした。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか				
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか				
適切な 支援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか				
	⑤	活動プログラムが固定しないよう工夫されているか				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか				
保護者 への 説明等	⑦	支援の内容、利用者負担額について丁寧な説明がなされたか				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解ができているか				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか				
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか				
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか				
	⑭	個人情報に十分注意しているか				
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し保護者に周知・説明されているか				
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか				
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか				
	⑱	事業所の支援に満足しているか				